

カトリック福岡教区の皆様

## 九州北部豪雨災害

### 『被災地ボランティア本郷宿泊所』の支援のお願い

＋ 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆様とともに！

福岡教区の皆様には、昨年の熊本・大分震災に際して、様々な形でたくさんの支援を頂戴しました。心から感謝と御礼を申し上げます。被災された方々は、今も続いている余震に耐えながら、復興に励んでおられると拝察しています。心からお見舞い申し上げます。

さて、この度、福岡・大分の両県で集中豪雨による災害が発生しました。今のところ、教会関係の施設や信徒からの被害の報告は届いていませんが、福岡県南東地域と大分県北部地域の被害は甚大で広範囲に及んでいます。豪雨から一週間が経過した7月14日現在、20名を超える方々が亡くなり、十数名の方が所在不明で連絡が取れず、千人以上の方々が暑い避難所で過酷な状況の中で過ごしています。

福岡教区では、今回の九州北部豪雨災害の対応に関する緊急会議を開き、被災地で活動するボランティアを支援することを決定しました。筑後地区の皆様、特に本郷教会と今村教会の皆様のご理解とご協力により、カトリック本郷教会の信徒会館ホールに『被災地ボランティア本郷宿泊所』を7月21日から10月末までの予定で開設することにいたしました。施設の関係上、男性のみ15名まで宿泊可能で、食事、お風呂、寝具（布団・毛布類）は各自で対応していただくこととなります。申込方法の詳細に関してはカトリック福岡教区のホームページをご覧ください。

教区民の皆様には、出費多端の折から、誠に恐縮ですが、『被災地ボランティア本郷宿泊所』の活動を支援するために、支援金で支えていただけると大変助かります。福岡教区の本年の目標である「いつくしみから踏み出す第一歩」の具体的な実践として受止めていただければ幸いです。

送金先や方法などの詳細は別紙をご覧ください。

被災者に支援金や義援金をお届けしたい方は、関係自治体・支援団体を通して対応して下さいますようお願いいたします。

イエスは、“飢え、渇き、裸の人、また旅人、病人、牢獄の人など、「これのわたしの兄弟、しかも最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしたのである」（マタイ 25.21-46 参照）”と諭されました。私たちも、社会的に脚光を浴びるような大きなことはできなくても、自分にできる手の届く範囲内で、この福音の実践者になりたいと思います。

2017年7月14日

カトリック福岡教区長      ＋      ドミニコ宮原良治司教